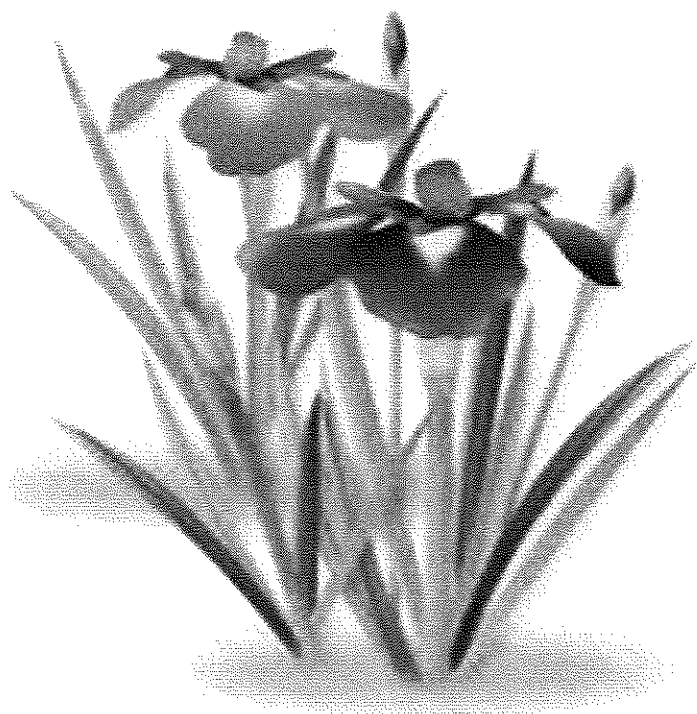


令和5年度版

アイリスノート



年 組 番

氏名

栗原市立栗原西中学校

学校教育目標

郷土を愛し、未来を切り拓く、
心豊かでたくましい生徒の育成

めざす生徒像

- 〈健康〉心身ともに健康で粘り強く取り組む生徒
- 〈志学〉「志」をもち、進んで学習する生徒
- 〈協調〉思いやりをもち、仲良く励まし合う生徒

栗原市立栗原西中学校校歌

いつしかころは

作詞 佐々木洋一
作曲 吉川和夫

一
水面に映る栗駒の 尾根をあゆんで 朝に夕
いつしか ころはふっと軽くなる
ふるさとの空 ふるさとの人 ひなの道

二
笑みをたたえる追川 生命湧き出る 水の球
いつしか ころはそっと清みわたる
君との出会い 君への思い 西の風

三
空にはばたく白鳥の つばさを胸に彼方まで
いつしか ころはもっと強くなる
これからの夢 これからの途 切通し

○ 生命（いのち）

○ 球（きゅう）

○ ひなの道とは、田舎の道という意味です。

○ 西の風とは、栗原西中学校の風という意味です。

○ 切通しとは、切り開いた、切り開くという意味です。

わたしの今年の生活・学習目標

○
○
○

アイリスノートの使い方

このアイリスノートは、毎日学校に持ってきて、帰りの会の前に記入します。充実した学校生活を送るためには、毎日の学習の記録や生活の反省を行い、明日の準備物をきちんと記録して把握することが大切です。

上に掲げた「わたしの今年の生活・学習目標」にどれだけ近づいているか、1日のわずかの時間ですが、自分自身を見つめ直しましょう。

<各教科の学習について>

各教科、「授業について」、「家庭学習への取組方について」などのポイントがまとめられています。よく読んで授業や家庭学習の参考にし、自分の学習方法を身に付けましょう。また、各学年の主な学習内容についてもまとめられています。テスト勉強など1年間の見通しを持って計画的に努力しましょう。「継続は力なり」です。

<1日の生活について>

1日に使える時間は限られています。時間を大切に、毎日、有意義な生活を送れるように、自分の「1日の生活」を設計しましょう。その際、平日・休日に分けて、また、部活動のある日・ない日に分けて生活設計を立てましょう。

<毎日の記録について>

帰りの会の前に、「次の日の教科」と準備物、提出物についてしっかり記入しましょう。「家庭での時間」には、その日の起床時刻や就寝時刻を記入し、自分の状況を把握しましょう。「一日を振り返って」には、1日の反省を記入し、これからの生活に生かしましょう。

<朝読書の記録について>

読んだ本の記録を記入します。それを参考に「おすすめの本」が紹介できるように記入しましょう。

<テスト計画表について>

年4回の定期テスト（中間・期末）に、計画的に取り組みましょう。各教科の目標点数を設定し、自分の勉強の予定と実施状況を記録します。テストが終わったら各教科への取組を振り返り、次に生かせるようにしましょう。

授業への臨み方

学習に臨む心構えや態度で学習成果や効果が大きく変わってきます。素直な気持ちで前向きに学習に臨めば、それだけ学習効果も期待できます。以下のことをよく守って真剣に取り組みましょう。

- ① チャイム着席を守りましょう。
- ② 宿題や準備物を確認し、忘れ物のないようにしましょう。
- ③ 授業のはじめと終わりに元気なあいさつをしましょう。
「おねがいします」 「ありがとうございました」
- ④ 人の話を真剣に聞きましょう。
- ⑤ 手をあげて積極的に発言や質問をしましょう。
- ⑥ 周りに迷惑をかける行為はやめましょう。
- ⑦ 正しい姿勢で学習しましょう。
- ⑧ ノートの記入や整理はていねいにしましょう。

テストへの臨み方

栗原西中学校では1学期に中間・期末考査、2学期に中間・期末考査があり、合計4回の定期考査が実施されます。また、学年ごとに到達度確認テストが数回実施されます。テストは自分の学習の確認をするよい機会であり、計画をしっかりと立てて取り組みましょう。

<テスト前に>

- ① 毎日の授業や家庭学習をしっかりと行いましょう。
- ② テストに向けての計画を立てて実行しましょう。
- ③ 体調を整え、テストへの準備をしましょう。

<テスト当日に>

- ① 必要な準備物を忘れないように前日に準備しましょう。
- ② 机の中には教科書・プリントなどは入れないでカバンにしまいましょう。
- ③ 机の上には筆記用具のみを置きます。(ふでばこはカバンにしまいましょう)
- ④ テストが始まったら名前を最初に書きましょう。
- ⑤ 問題全体に目を通してできる問題から取り組みましょう。
- ⑥ 質問は出題の先生に、その他は試験監督の先生に聞きましょう。

<テスト後に>

- ① 問題用紙は必ず保管し、テスト解答時にきちんと準備していきましょう。
- ② 間違えた問題は自主学習ノートにもう一度やってみたり、友だちや先生に聞いたりするなど、分かるまで粘り強く取り組みましょう。

栗原西中 学習規律

授業前

- 次の授業の準備をしてから休憩する。
- 忘れ物がある場合は授業が始まる前に先生に言いに行く。
- チャイムが鳴る前に着席して待っている。

机上

- 机の上は整頓する。
- 自分の利き手側にノートやプリント、反対側に教科書を置き、筆入れとファイルは使う時以外机にしまう。
- 机の上に、授業に関係ないものを置かない。

授業中

- 先生の話をきちんと聞く。
- うつむいたり椅子を揺らしたりせず、正しい姿勢で授業を受ける。
- 私語は慎む。
- 指示をしっかりと聞き、別のことをして遅れたりしない。
- 発言する場合は挙手し、指名されたら「はい」と返事をして立ってから発言する。
- 積極的に意見交換をして、学びを深める。
- 人の発言を聞いて笑ったり馬鹿にしたりすることは絶対にしない。

提出物

- 提出物の期限は必ず守る。
- もしも間に合わない場合は絶対に報告する。(間に合わなかったことへの謝罪と、いつまでに提出するか約束を)

**すべきことはしっかりとしましょう
勉強を頑張る人は何でも頑張れます！**

国語の学習

1 はじめに

国語科の学習で目指しているのは、社会生活の中で“よりよくコミュニケーションできる言葉の力”を身に付けることです。

そのために次の四つのことを学びます。

- (1)「話すこと」
目的や場面に応じて筋道立てて分かりやすく話す。豊かな表現。
- (2)「聞くこと」
目的や場面に応じて正確に聞き取る。
- (3)「書くこと」
相手や目的に応じて筋道立った分かりやすい文章を書く。豊かな表現。
- (4)「読むこと」
目的に応じて内容を正確に読み取る。言葉に着目する。イメージを膨らませる。

四つとも「自分の考えを持って」が共通の条件となっています。

これらの学習を通して、言葉の知識を蓄え、言葉の技術を磨いていくのです。

そこで、1年では、登場人物の思いを想像したり、自分のものの見方を広くしたり、相手に分かりやすく伝えたりすることを学びます。

2年では、人物像に着目して作品を味わったり、論の進め方を捉えて思考を深めたり、説得力を持って伝えたりすることを中心に学習します。

3年では、作品を批評したり、比較して考えを深めたり、目的や相手に応じて話したり書いたりすることを学習していきます。

豊かな想像も、深い思考も、自分の思いや考えを相手の心に届けるのも、言葉があるからこそできること。コミュニケーションの力を磨き、豊かな生活にしていこう。

2 授業について

《授業の約束事》

○授業に必要なものを確実に持ってくる。

基本的には「教科書・ノート・ワークブック」の3点セット。(必要に応じて「学習プリント」「ipad」「国語辞典」「漢和辞典」等)

○集中して学習に取り組む。

「授業に集中する」とは、私語をしないだけでなく、授業の課題や先生の問い掛けに対して自分なりの答えを持つよう常に努めながら、授業に臨んでいるということ。

○他の人の発言に真剣に耳を傾け、自分の考えを積極的に発表する。

国語の授業を通して一番身に付けてほしい力、それは「自分の考えを的確に伝える力」です。テストの点数が良いに越したことはありませんが、他の人の発言をしっかりと受け止め、自分の考えや思いを的確に伝えられる力が、これからの社会で求められています。

《「漢字テスト」について》

- ・教材の終わりごと、または、単元の終わりごとに漢字の小テストを実施します。
- ・漢字テストは国語の評価の参考となります。しっかり取り組みましょう。

3 家庭学習への取組方について

《家庭学習の仕方》

- ・毎日読書をしよう。国語の力のある人は必ず、普段から読書をしている人です。
- ・授業でとったノートや、活用したワークシートを見直し、話し合ったことや学んだことを、その日のうちに再確認しよう。短時間で済みます。
- ・漢字の練習を毎日しよう。ただし、すでに覚えている漢字を何度も練習するのは時間の無駄です！
- ・教科書の文章を毎日音読しよう。音読は中学生になっても大切。優れた文章のリズムを体得すると、作文も上達します。
- ・読み方や意味の分からない言葉を、面倒がらずに辞書で調べよう。さらに、その言葉を使って短い文を作るようになると自分自身のものとなります。
- ・ワークの資料や資料集で気になった箇所は、じっくり読み込もう。知識が飛躍的に広がります。

月	単元名	主な学習内容
4月	○風の五線譜 1 言葉を楽しむ ○話し方はどうかな ○音声の働きや仕組み 学力診断テスト4/22	・詩の意味をつかみ、音読を工夫する。 ・話す速さをつかみ、表情豊かな話し方を練習する。 ・音声の働きや仕組みについて理解する。
5月	○詩の心 ○小さな発見を詩にしよう ○文法とは/言葉の単位 ○活字と書き文字・画数・筆順 2 思いを捉える	・言葉の意味を的確に捉え、音読して鑑賞する。 ・表現を工夫して、4行くらいの詩を作り、読み合う。 ・「文章」「段落」「文」「文節」「単語」について学ぶ。 ・活字と書き文字の違い、画数、筆順について学ぶ。
6月	○飛べ かもめ ○さんちき ○話を聞いて質問しよう ○接続する語句 1学期中間考査6/21	・場面の様子や登場人物の思いに注意して、作品を読み味わう。 ・会話が広がり深まるよい質問を意識して会話する。
7月	3 分かりやすく伝える ○オオカミを見る目 ○調べて分かったことを伝えよう ○文の成分・連文節 ○音読み・訓読み ○碑	・段落の役割や段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉える。 ・材料を集め、分類・整理し、「私」の説明文を書く。 ・文の成分、連文節、文節どうしの関係について学ぶ。 ・漢字の音読みと訓読みについて学ぶ。 ・全文を通読し、最も印象に残ったところを話し合う。
8,9月	校内テスト8/24 1学期末考査9/15	
10月	4 考えをまとめる ○私のタンポポ研究 ○根拠を明確にして書こう ○中心を明確にして話そう	・事実と筆者の考えとを読み分けながら展開を捉える。 ・説得力のある根拠を明確に述べた意見文を書き、読み合う。 ・「以ている言葉」について具体例を挙げスピーチする。 ・漢字の部首や、その意味について学ぶ。
11月	○漢字の部首 5 伝統文化に触れる ○移りゆく浦島太郎の物語 ○伊曾保物語 ○竹取物語 2学期中間考査11/24	・歴史的仮名遣いに注意し、古文の読み方を練習する。 ・古語に注意して音読し、描かれた人々の心を考える。
12月	○矛盾 ○案内や報告の文章を書こう ○単語の分類	・漢文のきまりを学び、故事成語を調べる。 ・必要な情報を選び出し、分かりやすい構成で文書を作成する。
1月	6 作品を読み解く ○少年の日の思い出 ○書写(硬筆・毛筆) ○名詞 校内テスト1/10	・単語の分類(10品詞)について学ぶ。 ・人物や情景を描いた表現に着目し、読み深める。 ・筆脈を意識して行書を書く。 ・名詞の種類について学ぶ。
2月	7 表現を考える ○ニュースの見方を考えよう ○話し合いで理解を深めよう ○作品の良さを表現しよう ○連体詞・副詞・接続詞 ・感動詞	・情報への接し方と用い方を学んで身につける。 ・相手の話を受け止め、方向を捉えて返す練習をする。 ・歌詞の鑑賞文を書き、CDのジャケットを作成する。 ・4品詞の種類や働きについて学ぶ。
3月	2学期末考査2/17 ○漢字の成り立ち 校内テスト3/6 ○わたしの中にも ○トロッコ	・成り立ちや使い方による6通りの分類について学ぶ。 ・比喩的に使われている言葉の意味を捉え、ものの見方について話し合う。 ・情景描写の表現効果を考える。

月	単元名	主な学習内容
4月	○未来へ 学力診断テスト4/22	・「時」の表現を捉え、読み方を工夫して音読する。
5月	1 言葉を感じる ○手紙の効用 ○短歌を楽しむ ○話し言葉と書き言葉 ○形の似た漢字 2 感想を深める ○辞書に描かれたもの ○卒業ホームラン ○考えを比べながら聞こう ○敬語	・キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉える。 ・情景や心情から短歌を読み味わい、鑑賞をまとめる。 ・話し言葉と書き言葉それぞれの役割を理解する。 ・形の似た漢字を、問題に取り組みながら確認する。
6月	○辞書に描かれたもの ○卒業ホームラン ○考えを比べながら聞こう ○敬語 1学期中間考査6/21	・登場人物の言葉や行動のもつ意味から作品を味わう。 ・主観的な表現や考えの根拠を吟味し、考えを広げる。 ・敬語の種類について学ぶ。
7月	3 伝え方を工夫する ○ハトはなぜ首を振って歩くのか ○郷土のよさを伝えよう ○用言の活用 ○漢字の意味 ○卒業ホームラン	・読み手に分かりやすい文章構成と要約の仕方を学ぶ。 ・レポートの書き方を、構成を中心に実践的に学ぶ。 ・身近な題材から収集した情報を整理、レポートにまとめる。 ・動詞・形容詞・形容動詞の活用の形や仕方を学ぶ。 ・主人公の心情変化について読み取る。
8,9月	校内テスト8/24 ○黄金の扇風機／サハラ砂漠の茶会 ○根拠を吟味して書こう ○説得力のある提案をしよう 1学期末考査9/15	・二つの文章を比較し、筆者の主張を捉える。 ・筆者の論の進め方を捉え、論証の吟味の仕方を学ぶ。 ・反論を想定し、根拠を明確にした意見文を書く。 ・聞き手に納得してもらうためのプレゼンテーションについて考える。
10月	○助詞 ○同訓異字 5 伝統文化を楽しむ ○枕草子・徒然草	・助詞の種類や働きについて学ぶ。 ・用言、体言それぞれの同訓異字を、問題で確認する。
11月	○平家物語 ○漢詩 ○依頼状やお礼状を書こう 2学期中間考査11/24	・随筆のものの見方や考え方を捉え、自身、随筆を書く。 ・状況や心情を読み取り、武士の価値観を考える。 ・漢詩を味わい、情景・心情、表現上の特徴を捉える。 ・お礼状の構成や書き方を理解する。
12月	○助動詞 6 描写を味わう ○走れメロス ○人物像を捉える ○類義語・対義語 ○饅頭－世界に誇る伝統食 ○書写（硬筆・毛筆）	・助動詞の種類や意味を理解する ・メロスの変化、展開や表現の仕方の工夫を読み取る。 ・登場人物の言動から人物像を捉えられることを学ぶ。 ・類義語の意味の違いと対義語の種類について学ぶ。 ・全文を読み、伝統食について話し合う。 ・行書の筆使いや流れ・字形を考えて書く。
1月	校内テスト1/10	
2月	7 効果的に表現する ○正しい言葉は信じられるか ○話し合いで問題を検討しよう ○いきいきと描き出そう 2学期末考査2/17	・同じ事実の二つの記事が与える印象の違いを考える。 ・テーマを決めてメリットとデメリットを話し合い、意見まとめる。 ・人物や情景をいきいきと描写する方法について学ぶ。 ・同音異義語を使い分ける問題に取り組む。
3月	○同音異義語 ○わたしが一番きれい 校内テスト3/6 ○坊っちゃん	・作者のものの見方や考え方に感想を持ち、話し合う。 ・文学作品を読み、登場人物の考え方について考える。

月	単元名	主な学習内容
4月	○生命は 1 言葉を磨く ○二つのアザミ 全国学力学習状況調査4/19 学力診断テスト4/22	・効果的な表現を捉え、読み方を工夫して音読する。 ・対比された言葉に注意して、筆者の考えを捉える。
5月	○俳句の読み方、味わい方 ○俳句を作って句会を開こう ○和語・漢語・外来語 ○他教科で学ぶ漢字1 2 作品を論じる	・表現の工夫に着目して、俳句を読み味わい、鑑賞文をまとめる。 ・俳句を作り、互いに読み合い、よさを評価する。 ・和語・漢語・外来語の区別や特徴を理解する。 ・他教科で学ぶ漢字の読み書きを確認する。
6月	○形 ○百科事典少女 ○評価しながら聞こう 1学期中間考査6/21	・原典と読み比べ、この小説の工夫や魅力をまとめる。 ・場面の展開や表現の仕方に着目し、作品を評価する。 ・様々な観点で評価しながらスピーチを聞く。
7月	○間違えやすい敬語 ○熟語の構成・熟字訓 3 文章の展開を考える ○絶滅の意味 校内テスト6/27	・間違えやすい敬語の正しい使い方を理解する。 ・二字熟語、三字熟語、熟字訓について問題に取り組む。
8,9月	○編集して伝えよう ○連語・慣用句 ○四字熟語 校内テスト8/24	・文章から、説得力を高めるための論の進め方を学ぶ。
	4 多面的に検討する ○幸福について ○観察・分析して論じよう ○場面に応じて話そう 1学期末考査テスト9/15	・知識や体験をもとに、推敲して説明文や随筆を書く。 ・連語・慣用句について理解する。 ・四字熟語の構成を、問題に取り組みながら理解する。
	○曖昧な文・分かりづらい文 校内テスト10/1	・幸福についての議論を通し、筆者の考えを読み取る。 ・説得力のある批評文を書き、読み合って評価する。 ・目的、相手、時間を意識したスピーチを練習する。
10月	○送り仮名 5 伝統文化に親しむ ○万葉・古今・新古今 ○おくのほそ道 ○論語	・曖昧な文や分かりづらい文になる原因と、分かりやすい文の書き方について理解を深める。
11月	校内テスト11/1 ○書写(硬筆・毛筆) ○文法のまとめ	・送り仮名の原則を理解し、併せてその例外を知る。 ・和歌の世界に親しみ、鑑賞文をまとめる。 ・芭蕉の紀行文に親しみ、構成、表現の特徴を考える。 ・漢文を味わい、座右の銘を選んで文章にまとめる。
12月	2学期中間考査11/24	・行書の筆使いや流れ・字形を考えて書く。 ・文法的な性質の異なる語の見分け方を確認する。
1月	6 関係を読む ○故郷 ○紛らわしい漢字 校内テスト1/10	・場面展開と人間関係の変化を捉えて、読み深める。 ・形や音の似た、紛らわしい漢字の問題に取り組む。
2月	7 思いを馳せる ○いつものように新聞が届いた ○話し合いで問題を解決しよう ○文法のまとめ 2学期末考査2/17	・災害時における情報の価値やメディアの役割、伝える意義について話し合う。 ・論点チャートを生かした討論の仕方を実践的に学ぶ。 3年間の文法の総復習を行う。
3月	○最後の一句	・作品を読み、人間や社会について考える。

社会の学習

1 はじめに

中学校の社会科の授業では、3年間で地理・歴史・公民の3つの分野を学習します。1・2年生は地理と歴史、3年生では歴史と公民です。

社会科では、知っておくべき知識（用語）が多くあります。もちろん、その知識を身に付けることも大切ですが、資料を読み取る力、資料を基に考える力、考えたことや調べて分かったことを表現する力なども身に付けたい力です。社会科を学習する目的は、日本国民の一員として、これからの日本や世界を作っていく力、これからの世の中を生きていく力を身に付けることです。そのために歴史では日本や世界がたどってきた道のりを、地理や公民では現在の日本や世界の様子を学習するのです。また、新聞やニュースを見る習慣をつけましょう。今、どこでどんなことが起きているかを知ることはとても大事なことですし、授業の理解度も大きく変わってきます。

2 授業について

①授業の受け方

学習で最も大切なことは日々の授業を大事にすることです。授業中にある程度理解できれば、復習する時間が少なくてすみます。そこで、以下の点を守って頑張りましょう。

○準備物や課題（宿題）を忘れないこと。

○板書事項をしっかりとノートに書き写すこと。

（板書事項以外でも、「大事だな」と思った説明などは、記入しておきましょう。）

○先生の発問（質問）には積極的に答えましょう。また、自分の意見をしっかりともちましょう。（自分の考えが適切なのか、そうでないのかを確かめるためです。）

○「なぜ」という疑問を持ちながら、授業に臨むこと。

（分からないときには積極的に質問しましょう。）

②準備物

○教科書 ノート 歴史資料集 地図帳 ワーク

3 家庭学習への取組方

①家庭学習の仕方（学習方法）

○自主学习ノートに教科書の要点をまとめる。

板書事項の丸写しにならないこと。自分専用のオリジナル参考書をつくるつもりで。はじめは、あまり細かくまとめずに、徐々に必要なこと、分かったことを付け加えるとよいでしょう。

〔地理的分野の場合〕

地理で最も大事なものは地図です。地理を勉強するときには、必ず地図帳を横に置いて、分からない地名や国名が出てきたら、必ず地図帳で調べましょう。また、地図帳には、気候区分・各国貿易品・宗教・地図記号の表し方など、たくさんの情報が載っていますので、大いに活用しましょう。

〔歴史的分野の場合〕

活躍した人物や重要な語句を理解すると同時に、歴史の流れ（年表）をノートに書き写したりして学習しましょう。小学校で学習した内容を骨組みとして、徐々に肉付けしていくとよいでしょう。また、歴史上のできごとは「いつ、どこで、誰が、どんなことを、なぜ、その結果」というポイントでまとめることが大切です。

〔公民的分野の場合〕

政治や経済の学習では、様々な制度のしくみとその背景にあるものを理解することが大切になってきます。難しいと思われる内容もありますが、新聞やテレビで報道されている社会的なできごとと深く関連している内容ですので、時間を見つけてはニュースや新聞を見る・読む習慣をつけるとよいでしょう。また、社会で起こっている様々な問題を自分の問題として受けとめ、原因や影響、そして解決方法などを自分の言葉でまとめることができるようにしてみましよう。

○練習問題を何度も解く。

間違った問題には印を付けておくこと。そうすると理解できた問題とそうでない問題の区別がはっきりつきます。また、印が多い問題は何度もやるうちに、自然と頭の中に残ってきます。

数学の学習

1 はじめに

中学生になると「算数」は「数学」へと名前が変わります。勉強の内容は小学校より少しレベルが上がりますがさほど心配することはありません。

数学は、自分の頭と手を使って筋道を立てて考える教科です。新しい未知のものを発見した喜びや難しい問題を解いた時の感動はすばらしいものです。

2 授業の受け方について

①いつも準備する物

- ・ 6点セット…教科書、ノート、ワーク、ワークの解答、ファイル、のり
- ・ 図形の単元ではコンパス、三角定規が必要になります。

②授業は真剣勝負の場

- ・ 集中して自分が理解できるように取り組まなければ理解できません。授業中おしゃべりをしたり、「ぼー」として聞いていなかったり、分かったつもりで復習しなければ分からないことがどんどん増えていきます。まず授業に真剣に取り組みましょう。

③みてわかるノート

- ・ 黒板に書かれたことはもちろん、その他の事柄もメモを取り、色ペンなどを上手に使用して、分かりやすく、芸術的な自分だけのノートを作りましょう。
※ 目標…青、重要事項…黄、まとめ…赤
- ・ 間違えてもいいから自分で答えを出すように努力する。間違えてしまった問題は、消さずにノートに残しておくといいです。また途中の計算や考え方も消さずにノートに残しておくようにしましょう。
- ・ いい考え方やいい意見だと感じたことや疑問などは、メモに残しましょう。自分の考え方と比較することで、考えが広がったり深まったりしていくのです。

④宿題を忘れないこと

3 家庭学習への取組方について

数学は、積み重ねの教科です。その日に学習したことは、その日のうちにしっかりと復習をして、自分のものにしましょう。一番怖いのは、「分かったつもり」になることです。本当に「分かった!」となるよう、「なぜ、そうなったか」という過程をしっかりと確認して、「分かった」から「できる」になるように繰り返し学習しましょう。

① 予習の方法

教科書を読み、例題を参考にしながら問題に取り組みましょう。分かるところとよく分からないところをはっきりさせ、分からないところを授業で分かるようにするのが予習の大きな役割です。

②復習の方法

- ・ その日の授業で解いた問題をノートや教科書を見ないで自分の力で解いてみる。
- ・ 解けなかった場合は教科書の例題を見て、もう1度解いてみる。
- ・ それでも解けなかった場合はノートを写し直してそれから解き直してみる。
(どうしても解くことができない場合は次の日に先生に質問する)
- ・ その日の授業で解いた問題を解くことができた場合にはさらに問題集などに取り組ましましょう。

③自主学習ノートの使い方

- ・ 自主学習の仕方を参考にノートを使い、自分で○を付けましょう。
- ・ テストの後は間違えた問題や分からなかった問題をやってみましょう。

理科の学習

1 はじめに

今まで何気なく見ていた身のまわりの現象や物質、生命などを科学的に考えていくのが理科です。理科の学習を通して「あ、そういうことだったんだ!」と気付く場面がたくさん出てくると思えます。身のまわりに隠された科学に気付いたとき、きっと大きな感動が味わえます。そのためにも毎日の授業に積極的に臨み、一つ一つの学習内容を着実に身に付けていくよう、頑張ってください。キーワードは「なぜ?」「どうして?」です。

2 授業について

①授業の受け方

理科の授業では、学習内容によって教室で授業を行ったり、理科室で授業を行ったりと、場所が変わります。学習係の人は、前日までに担当の先生に聞きに行き、確実に連絡するようにしましょう。また、理科室などで授業が行われる場合は、授業開始時間までに理科室に入り、着席しておくようにしてください。下に授業を受けるときの注意点を載せておきます。

【授業のルール】

- ・先生の話をよく聞くこと。
(黒板に板書する内容は、話をまとめたものです。どうしてそのようなまとめになったのか、その理由は口頭で説明する場合もあるので、先生の話はしっかりと聞きましょう。また、観察・実験方法の注意点なども話すので、聞き逃さないようにしましょう。)
- ・ノートをしっかり取ること。
(ノートは書いて終わりではありません。後で振り返る時のために書くものです。よって見やすく書くように心掛けましょう。また、後で調べて分かったことや問題を解いていて注意すべき点が見つかったら、ノートにどんどん書き込んでいきましょう。)
- ・プリント類は必ずファイルにとじること。
(プリントは配付されたときにすぐにとじなければ、バラバラになりますし、後で復習しようとしても無くしてしまいます。そうならないためにも、すぐにとじる癖をつけましょう。)

【理科室利用のルール】

- ・理科準備室には勝手に入らないこと。
(危険な薬品があります。)
- ・理科室の物品は、指示を聞かずにさわったり、持ち出したりしないこと。
(みんなで使う物です。勝手に使わないこと。)
- ・授業後、椅子はテーブルの上に並べて置くこと。ゴミはゴミ箱へ。
(次に理科室を使う人のためにキレイにしましょう。)
- ・理科室に来る前に手を洗ってきましょう。また実験が終わった後も手を洗いましょう。

②準備物 (学校から配付されるものもあります)

教科書、ノート、ワークブック、ファイル、のり、はさみ、定規等

3 家庭学習への取り組み方について

①家庭学習の仕方

「授業を受けた日のうちに復習すること」が大切です。ノートを開いてその日に学習した内容をもう一度見るようにしましょう。また、計算問題はできるようになるまで、何度も練習する必要があります。1度やっでできなかったからといって決してあきらめてはいけません。1度で完璧にできるようになる人はいません。何度も練習し、何度も間違え、そして少しずつできるようになっていくのです。同じ問題で良いので、解けるようになるまで何度も繰り返しチャレンジしましょう。

②家庭学習(自学)ノートの使い方

ワークの問題を上手に利用しましょう。ワークを見て、その答え等をノートに書き、自分で採点しましょう。間違えた問題は、再度解き直しましょう。その時は「覚えた」と思っている、時間が経つにつれて忘れていくものです。

また、先生に説明されたことをもとに、自分なりの図で表してみることも大切です。また、先生に説明されたことを自分なりの言葉でまとめてみることも効果的です。

英語の学習ガイド

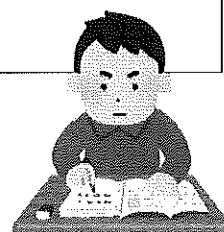


1 英語の授業で使用するもの

- ①New Horizon (教科書)
- ②英語ワークノート (授業中に使うノートです)
- ③ファイル (授業で使用したプリント等をファイルします)
- ④必要なとき・・・辞書

【授業中の心構え】

- (1) あいさつは大きい声で!
- (2) 先生からの指示をよく聞く。英語の指示でもよく聞いて、何をしなければならぬのか確認し、活動に集中しましょう。
- (3) 予習した時に分からなかったところの説明などをしっかり聞く! それでも分からなかった時は質問する!
- (4) 英語は言葉です。使わないと忘れます。だから、授業中は積極的に英語を使いましょう。間違いを恐れずに。また、読む時などは集中し、大きな声で!
- (5) ゲームやインタビュー活動などは、誰とでも協力して行うこと。また、ルールもしっかり守って行わないと楽しくありません。
- (6) 習ったことを授業中に覚えてしまう気持ちで!



2 英語の家庭学習の仕方

* 学習内容をしっかり身に付けるためには、次のことを繰り返し行うことが大切です。

【予習：まだ習っていないところを勉強すること】

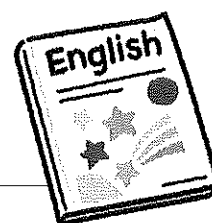
- (1) 予習するように指示されたページの単語の意味調べと本文を英語ノートに書き写す。
- (2) 単語の発音や意味など、分かっているのと覚えていないものを確認する。
- (3) 本文のだいたいの内容を考えてみる。できれば書いてみる。
- (4) 分からない単語や習った単語でも「違う意味があるのかな?」と思った単語を辞書で調べてみる。

【復習：習ったところを確認するための勉強です】

- (1) 習ったページの新出単語と新しく習った『基本文』の表現が「読める」「意味が分かる」「書ける」か確認しよう。覚えていない単語と基本文は読みながら英語ノートの空いているところに何回も書く練習をしよう。
- (2) 次に本文を声に出して読み、授業中にノートに書いた内容を見ながら、本文の意味が理解できているか、確認しよう。
- (3) ワークの該当ページを、答を見ないで問題を解いて、自分自身の理解度をチェックしよう。丸付けをしてみて、間違ったところを英語ノートに何回も書く練習をすると力が付きます。
- (4) 授業中に使ったプリントは、きちんと保管し、復習やテスト勉強に活用しよう。

【その他：英語の学習に興味を持つために】

- (1) NHK などで行っている英語学習のテレビ番組やラジオ番組などを視聴してみよう。
- (2) 洋画を見たり、洋楽を聞いてみよう。外国のドラマを見ることで生活のスタイルの違いや文化の違いなどを知ろう!
- (3) 身の回りにある英語やカタカナ語を辞書などで調べてみよう。
- (4) ALTの先生と仲良くなり、どんどん英語を使おう!
- (5) 外国のスターにファンレターを書いてみよう!
- (6) 英語以外の言語にも興味を持ってみよう!



音楽の学習



1 はじめに

中学校の音楽の学習は、小学校で学習してきた内容をふまえて、音楽的な要素について、より深く、学習を進めていきます。

1 学年では、歌唱の表現活動を通して、「歌うときの正しい姿勢」「声の出し方」を学びます。特に、男子は、変声期という時期にかかります。無理のない発声で歌うことにより、今までより、もっと響きのある声に変化していきます。また、アルトリコーダー（縦笛）の演奏の仕方を学びます。鑑賞の領域では、西洋のバロック時代の音楽を鑑賞したり、日本の伝統音楽についても学びます。

2 学年では、1 学年で学習した内容をふまえて、表現と鑑賞（古典派の音楽）の領域で学習します。

3 学年では、1, 2 年生での学習内容に加えて、「音楽の歴史」について、学習します。

2 学期には、校内合唱コンクールが開催され、学級ごとに合唱曲を選曲し、自分たちの学級の歌を作り上げます。

2 授業について

○授業の受け方

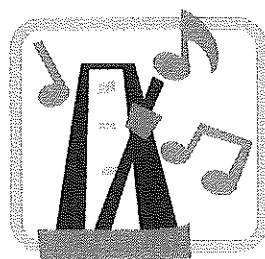
- ・教科書や楽譜に書き込む内容や板書は、きちんと書こう。
- ・授業中は、歌唱や楽器演奏に集中して取り組むと、楽しさを味わうことができるので、積極的に挑戦しよう。
- ・変声期のため、思うように歌えないときがありますが、「素直な気持ち＝素直な声」「響きのある声」を目指して、日々の学習に取り組みましょう。
- ・週1回の音楽の時間を充実させるために、課題（自学課題）は、家庭学習として必ず行いましょう。

○準備物

- ・教科書（音楽・器楽）、音楽教科用ノート、音楽のワークブック、ファイル、アルトリコーダー等の忘れ物をしないようにしましょう。

3 評価について

観 点	①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	①授業態度（忘れ物がなく意欲的に授業に臨んでいるか） ②歌唱（独唱・重唱）の実技テスト ③ARの実技テスト ④ペーパーテスト ④鑑賞レポート ⑤プリントや宿題
--------	---------------------------------------	--



保健体育の学習

1 はじめに

心身の健康は、楽しく充実した生活を過ごすために大切なことです。

体育分野は、運動することが中心となりますから、良い健康状態で授業を受けることが基本です。水泳など、学習内容によっては、命に関わることさえあります。食事をきちんと取ったり、早寝早起きをしたり、普段からの規則正しい生活を心掛け、健康な状態で授業を受けられるようにしてください。

また、保健分野では心身の成長を理解したり健康で安全な生活を過ごすために大切なことを学んだりします。生涯を通して心身ともに健康な生活を営むための大切な授業ですから、真剣に学習して下さい。

特に、中学校時代は、体格や体力・運動能力が急速に発達するとともに、考えたり判断したりする能力も高まる時期です。いろいろなスポーツに親しみ、生涯にわたってスポーツを楽しむ力や態度を身に付けましょう。

2 授業について

☆授業の受け方 保健体育系の教科連絡を必ず確認しよう。

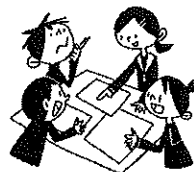
<実技>

- ① 服装を整えて授業を受けましょう。
- ② 準備・整理運動はしっかりしましょう。
- ③ 話をよく聞いて、活動しよう。
- ④ 楽しい授業にするために、仲間を大切に活動しましょう。
- ⑤ 苦手な種目だと思っても、チャレンジ精神で取り組みましょう。
- ⑥ 用具の片付けは、みんなで協力して行いましょう。



<保健>

- ① 教科書やノートなど、必要な物を忘れないようにしましょう。
- ② 心身の発育・発達、健康と環境、傷害の防止、健康な生活と病気の予防など普段の生活に生かせる内容となっています。大人になっても健康的で身を守るための行動ができるように、基本的な知識を身につけましょう。
- ③ 自分の問題として課題に取り組みしましょう。
 - ・自分はどうかろう？
 - ・自分だったらどうするだろう？
- ④ 友達の意見に耳を傾けましょう。



3 家庭学習への取組方について

<実技>

- ① 「中学校実技」の本を読んで、実技のルールやマナー、行い方などを確認する。
- ② 「保健体育ノート」を使い、実技に関する問題を解き、覚える。
- ③ 授業で習ったこと、重要点などを確認する。

<保健>

- ① 教科書を読んで学習内容を確認したり「保健体育ノート」の問題を解き内容をまとめたりする。
- ② 授業中に習ったポイントを覚えましょう。
- ③ 授業でプリントを使った場合などは、ノートに貼り付け内容を確認し覚える。

4 保健体育科で身に付けたい力

- (1) 各種目のルールや基本的な技術を身に付けるとともに、思考力や判断力を身に付ける。
- (2) 安全に運動を行い、各種目を理解して運動を行う力を身に付ける。
- (3) 生涯を通じてスポーツに親しみ、心身ともに健康な生活を営む態度や力を身に付ける。
- (4) 体力テストを基に、自己の体力に関心を持ち、体づくり運動や体ほぐし運動に積極的に取り組む。

美術の学習

1 はじめに

- 小学校で「図画・工作」と呼ばれた授業は、中学校では「美術」と名前を変えます。「美しさとは何か」といった美に関する内容と「表現や鑑賞の技術、方法を学ぶ」といった術に関する内容の両方が美術の授業になります。美術の学習活動は、2つの分野に分けられます。

「表現」・・・自分が表したい内容・イメージを考えて発想・構想し、表現方法を工夫して美しく表す学習。(絵、デザイン、彫刻、工芸などの制作)

「鑑賞」・・・美術作品など表現されたものや自然の造形などをじっくり見て、よさや美しさを感じ取り、見方や感じ方を深める学習。(レオナルド・ダ・ヴィンチ、ピカソ、モネ、葛飾北斎、岡本太郎などの画家の作品鑑賞 お互いの生徒作品の鑑賞)

- 創造することの楽しさや喜びを味わい、よさや美しさを感じ取る力(感性)や美しいものや優れたものに接して感動する豊かな心を育てることをねらいとした教科です。

2 授業について

① 授業の受け方

次のことを大切にして授業を受け、表現や鑑賞活動から達成感や充実感を味わいましょう。

- やる気・集中
授業時間は限られています。1時間の授業にやる気をもち、集中して取り組みましょう。
- 「自分らしさ」で勝負
人と違うことも個性のひとつ。自分ならではの考えや表現を大切にして、思い切り自分らしさを出してみましょう。
- よさを認め合おう
他の人の意見や作品のよさをどんどん見つけましょう。お互いよさを認め合うことは自分自身の魅力を見つける方法の1つ。

② 準備物

- 教科書 資料集 レタリング字典 絵の具セット

3 家庭学習への取組方

家庭学習の仕方 (学習方法)

- 作品が期限内に完成しないときは、家に持ち帰り提出期日までに完成させ、提出すること。
- 新聞や広告、雑誌などに載っている写真や絵などを見て、自分で気に入ったものを切り抜き、集めておくと作品制作に役立ちます。
- スケッチは全ての制作活動の基本になります。授業時間だけではなく、普段から描く習慣をつけておくと表現力が向上します。
- 形・色彩と生活について考えましょう。(室内インテリア・服装・料理の色合い 等)
- 美術展やTVの番組、画集など積極的に鑑賞し、作品のよさや美しさについて味わいましょう。

技術・家庭科の学習

1 はじめに

中学校では技術家庭科の学習を行います。小学校にはない教科です。

1年生では、技術分野で生活に役立つものづくりで木工作品(設計～製作まで)を製作します。また、情報とコンピュータ(基本操作およびコンピュータの活用)の学習をします。

家庭分野では生活の自立と衣食住ということで、自分らしく清潔に着る(衣類の手入れ等について)、食生活を自分の手で(調理実習等)、快適に住む(快適な室内環境等)ことなどを学習します。

2年生では、技術分野で生物育成、エネルギー変換(電気機器の仕組みや電子工作等)と情報とコンピュータ(情報セキュリティ、情報モラル)の学習をします。

家庭分野では豊かに楽しく食べる(郷土料理等の調理実習)ことと消費生活と環境(販売方法や支払い方法等)を学習します。

3年生では、技術分野で計測と制御の仕組み(プログラム)を学習します。

家庭分野では家族と家庭生活(子どもの成長について)と家族・家庭と地域(家族・家庭のはたらき、地域とのつながり)の内容を発展させたものを学習します。

技術・家庭科で学習したことを生かして、生活を改善させることができる習慣を身に付けましょう。

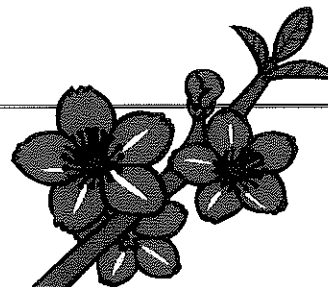
2 授業について

○技術・家庭の家庭学習の方法(各学年共通)

- ・授業で学習した内容を家庭生活で実践することが家庭学習の基本です。
生活に役立つものづくりや家事の手伝いなど、できるだけ多くのことを進んで行って下さい。
- ・調理実習や学んだ調理法や料理は、家庭でも実践し家族に味わってもらいましょう。

3 準備物について

- ①教科書「技術分野」「家庭分野」
 - ②技術・家庭ノート「技術分野」「家庭分野」
 - ③ファイル技術・家庭各1冊
- ※全て3年間使用するので、大切に使いましょう。



○技術分野

月	1年		2年		3年	
	単元	主な学習内容	単元	主な学習内容	単元	主な学習内容
4月	○ガイダンス	・技術の学習について	○生物を育てるための計画と管理	・生物の育成計画 ・植物の観察・育成	○双方向性のコンテンツの設計・制作	・プログラムの作成
5月	○材料と加工法	・材料の特徴 ・材料を丈夫にする方法など	○生物育成に関する技術の評価・活用	・生物育成の技術を未来に生かそう		
6月						
7月	○製作品の設計・製作	・製作品の構想 ・製作	○エネルギー変換と利用	・電気の仕組み ・電気機器の安全	○プログラムによる計測・制御	・計測・制御を活かしたセンサロボットの制作
8, 9月	○作品の掲示	・西中祭での作品掲示	○製作品の製作	・エネルギー変換を利用した製作品		
10月			○エネルギー変換と利用	・機械や構造に力を伝えるしくみ	○双方向性のコンテンツの設計・制作	・プログラムの作成
11月	○材料と加工に関する技術の評価・活用	・製作品の評価 ・材料と加工に関する技術を未来に生かす	○エネルギー変換に関する技術の評価・活用	・エネルギー変換に関する技術を未来に生かそう		
12月						
1月	○情報に関する技術	・情報モラルやセキュリティ	○情報に関する技術	・コンピュータの構成やしくみ ・情報通信ネットワークの仕組み ・プログラミング言語について	○SDGsを考えた、情報に関する技術の評価・活用	・情報に関する技術を未来に生かそう
2月	○生物育成に関する栽培・飼育方法	・次年度の作物栽培に関する知識				
3月						

○家庭分野

月	1年		2年		3年	
	単元	主な学習内容	単元	主な学習内容	単元	主な学習内容
4月	ガイダンス	家庭の学習について	食生活と栄養	食事の役割 栄養素の種類と役割	家族・家庭と地域	家庭や家族の基本的な機能 中学生としての自立
5月	衣生活と自立	衣服の働き 目的に応じた着用	献立作りと食品の選択	食品に含まれる栄養素 1日分の献立 食品の選択と購入	幼児の生活と家族	家庭生活と地域との関わり
6月		個性を生かす服装 衣服の計画的な活用 衣服の手入れ				幼いころの振り返り 幼児の体の発達
7月	住生活と自立	住まいの役割 日本の住まいと住み方	調理と食文化	日常食の調理 地域の食文化	幼児の生活と遊び 幼児とのふれあい	幼児の心の発達
8, 9月	安全で安心な住まい	住生活の課題と実践 生活を豊かにする工夫 制作の計画 布を用いた物の製作				幼児の生活習慣の習得
10月	生活を豊かにするために	住生活の課題と実践 生活を豊かにする工夫 制作の計画 布を用いた物の製作	生活の課題と実践	食生活の課題と実践	幼児の生活と遊び 幼児とのふれあい	子どもにとっての家族
11月	私たちの消費生活	販売方法と支払い方法	調理と食文化	地域の食材を生かした調理 より良い食生活を目指して	これからの私と家族	中学生にとっての家族
12月		消費者トラブル 消費者の権利と責任				
1月	環境に配慮した消費生活	エネルギー消費と活用	調理と食文化	地域の食材を生かした調理 より良い食生活を目指して	これからの私と家族	中学生にとっての家族
2月						
3月	環境に配慮した消費生活	エネルギー消費と活用	調理と食文化	地域の食材を生かした調理 より良い食生活を目指して	これからの私と家族	中学生にとっての家族

令和5年度 栗原西中学校 年間単元指導計画

教科/月	めざす生徒像 (目標)				「志」をもち、進んで学習する生徒 (意いやりをもち、仲間と励まし合う生徒)				単元/期間			
	4月	5月	6月	7月	8-9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月
学校教育目標	「志」をもち、進んで学習する生徒 (意いやりをもち、仲間と励まし合う生徒)											
学校行事	めざす生徒像 (目標)											
国語	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	1. 意図を読み取る 2. 意図を読み取る 3. 意図を読み取る 4. 意図を読み取る	卒業式、修了式
書写	※年間20単元時間程度											
地理	世界の国と地域											
社会	世界の国と地域											
数学	数の世界をひろげよう [正負の数]											
理科	身のまわりの現象											
総合	身のまわりの現象											
特活	身のまわりの現象											
道徳	身のまわりの現象											
外国語	身のまわりの現象											
音楽	身のまわりの現象											
美術	身のまわりの現象											
技術	身のまわりの現象											
家庭	身のまわりの現象											
保体	身のまわりの現象											

— 栗原西中学校生徒会規約 —

第1章 名称

第1条 本会は栗原西中学校生徒会と称する。

第2章 会員

第2条 本会は栗原西中学校に在学する生徒全員をもって組織する。

第3章 目的

第3条 本会の会員は生徒の本分を自覚し、全教師の指導のもとに自主的精神に基づく自治活動によって、学校生活の充実・改善をはかると共に有意義な社会の形成者としての教養を得ることを目的とする。

第4条 前条の目的を達成するため、次の活動をする。

- 1 学校の各種行事に積極的に協力、参加する。
- 2 全校生徒の生活改善や福祉をめざす。
- 3 各学級や部活動の連帯を深める。
- 4 その他、生徒会の目的を達成するために必要な活動をする。

第4章 役員任期任務

第5条 本会に次の役員をおく。

会長1名、副会長1・2学年各1名、総務若干名を会長が推薦し、それを生徒集会で承認する。本会の会計は教師に依頼する。

第6条 役員任期は1年間とする。

第7条 役員任期は次のとおりとする。

- 1 会長は生徒会を代表して会務を整理し、生徒総会、中央委員会の決議事項を実施する。
- 2 副会長は会長を助け、会長に事故ある時はその代理をする。
- 3 総務は、会長、副会長を助け、生徒会活動がスムーズに進められるよう努める。

第5章 総会

第8条 前期に総会、また後期は、拡大中央委員会を開く。ただし、中央委員会が必要と認められた時、または会員の3分の2以上の要求があった時、または学校で必要と認められた時は、学校長の許可を得てこれを開くことができる。

第9条 総会は顧問教師の指導助言を得て進行され、決議事項はすべて尊重される。

第10条 総会は次の機能を持つ。

- 1 規約の制定及び変更。
- 2 役員を選任及び解任。
- 3 予算の審議、決定及び決算の承認。
- 4 活動方針の審議及び決定。
- 5 その他、生徒会の目的達成に必要な事項の決定及び承認。

第11条 総会は、会員の3分の2以上の出席で成立し、決議は出席者の過半数でこれを決す。

第6章 中央委員会

第12条 中央委員会は、執行部、各委員会の委員長、部長会代表、各クラスの学級委員によって構成される。ただし、会長が必要と認めた場合には、その他のものを参加させることができる。だが議決権はない。

第13条 中央委員会は次の機能をもつ。

- 1 執行部・各委員会・部長会及び各学級から提出された事項の審議決定をする。
- 2 中央委員会は生徒総会に代わる決議機関である。
- 3 急を要する事項及び投書された事項について審議する。

第14条 中央委員会は会長が月1回招集し、必要に応じて臨時招集する。

第15条 会議は構成員の3分の2以上の出席で成立し、決議は出席者の過半数でこれを決す。

第16条 中央委員会は特別のことがらを審議または実施するため、特別委員会をおくことができる。特別委員会はその任務が終わったとき、または中央委員会の決定があったときは解散する。

第17条 中央委員は学級委員2名がなり、中央委員会に参加し、中央委員会と各学級クラスを結ぶ役割をする。

第7章 執行部

第18条 執行部は、会長・副会長・総務で構成する。

第19条 執行部の持つ機能は、執行部会を開き中央委員会・総会その他の会に提案することからについて話し合い、決議されたものについてはこれを励行する。

第8章 委員会

第20条 本会の活動を有効にするため、次の委員会をおき、学校生活向上に必要な事項を決定し活動する。

○学級委員会 ○生活委員会 ○保健委員会 ○図書委員会 ○広報委員会

第21条 各委員会の委員は各学級から2～4名の間で選出する。

第22条 各委員会の委員長は、各委員会で互選し、その任期は前期（4月～10月）、後期（11月～3月）とする。ただし、前期の各委員会の委員長は3年生から、後期は2年生から選出する。その他、委員会に必要なことは別に定める。

第9章 部活動

第23条 すべての会員は、運動部、文化部のいずれか1つの部を選択し、保護者の承認を得て入部し、自主的に活動する。

第24条 部の所属決定は、1年生の4月末までに行う。なお、年間途中での所属変更は原則認めない。

第25条 部活動に関する細則は、部活動計画による。

第10章 部長会

第26条 文化・運動の各部の上に部長会をおく。部長会は各部の部長からなり、3分の2以上の出席をもって成立する。全文化部長より文化部長を1名、全運動部長より運動部長1名を選出する。その任期は前期（5月～10月）・後期（11月～4月）までとする。

第11章 予算

第27条 生徒会費は本会経費に充てる。会計年度は学校年度と同じにする。

第28条 予算の配分は執行部会で審議し、中央委員会、総会の承認を得なければならない。

第12章 最終決定権

第29条 総会及び中央委員会、各委員会の決定事項の行使は、学校長の承諾を得なければならない。

第13章 顧問教師

第30条 本会の各委員会及び各部は顧問教師の指導を仰ぐものとする。

第14章 改正

第31条 規約の改正は、中央委員会の3分の2以上の賛成、且つ、職員会議を経て、必要と認められた場合、総会において議決する。

第15章 細則

第32条 中央委員会は、この規約を施行するために、細則を定めることができる。ただし、規約に反することはない。

第16章 付則

第33条 各学年共通、学級共通の問題を協議するため、学年委員会をおく。この規定は別に定める。

第34条 選挙管理委員会を独立させた機関として設置し、別に定める選挙管理規定に基づきその活動を行う。

第35条 この規約は、平成24年5月21日より施行する。

平成30年3月22日 一部改正

— 栗原西中学校選挙管理規定 —

- 第1条 この規定は生徒会規約第31条および第33条に基づき生徒会役員選挙を公正に行うために設ける。
- 第2条 生徒会役員選挙の管理を円滑に行うために選挙管理委員会を設け、各学級代表1名をもって構成する。
- 第3条 選挙管理委員会には次の役員をおき、役員は委員の互選によって決定する。
- 1 委員長 1名
 - 2 副委員長 1名
 - 3 書記 2名
- 第4条 役員は次の仕事をする。
- 1 委員長は委員会を代表し、選挙についてのすべての仕事をまとめる。
 - 2 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故ある時はその任務を代行する。
 - 3 書記が選挙についていっさいの会議、運営についての記録を行う。
- 第5条 選挙管理委員会は必要に応じて会を開き、次の仕事を行う。
- 1 役員選挙の公示に関すること。
 - 2 立候補の受付に関すること。
 - 3 選挙運動に関すること。
 - 4 立会演説会に関すること。
 - 5 投票の方法、結果の処理に関すること。
 - 6 当選の確認に関すること。
 - 7 その他、選挙管理に必要なこと。
- 第6条 選挙に立候補する者は、責任者1名と連名で、立候補届けを選挙管理委員会に届けなければならない。
- 第7条 ポスターは、選挙管理委員会で交付した規定の用紙を使用しなければならない。その他の用紙を使用した場合は選挙管理委員会で処理する。たすきについても同様である。
- 第8条 投票は無記名投票で、会長1名、副会長は1・2学年から各1名ずつ選ぶ。(生徒会規約第5条より)
- 第9条 各立候補者、責任者は立候補届けが受理された後に、選挙運動を行うことができる。
- 第10条 選挙運動は次の範囲内で行うものとする。
- 1 定める時間内での学級訪問
 - 2 ポスター掲示
 - 3 放送による抱負発表
 - 4 街頭アピール(昇降口付近)
 - 5 立会演説会
 - 6 その他、選挙管理委員会で決定したこと
- 第11条 選挙管理についての細則は選挙管理委員会で決定することができる。
- 第12条 この規程は昭和56年4月1日から施行する。

平成8年9月21日 一部改正

いじめ防止宣言

平成30年度の生徒会で、近年増加するいじめ問題に対して自分たちにできることを考え、1年間かけて「いじめ防止宣言」を作成しました。この宣言は「私たちはいじめをしません。」ということ全校生徒で掲げるとともに、全校生徒の誓いを他の学校へもアピールする目的で作られました。栗原西中学校の一員として「いじめ防止宣言」を意識した生活を心掛けましょう。

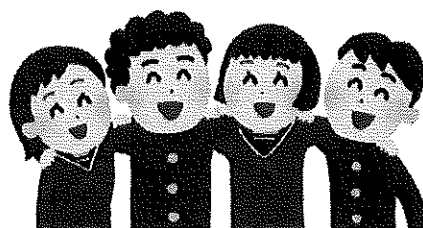
いじめ防止宣言

- 一、 一人一人がいじめに対する意識を常に持ち行動します。
- 二、 周囲に気を配り行動します。
- 三、 仲間との絆を深め笑顔あふれる学校を作ります。

栗原西中学校生徒会一同

【振り返ってみよう！】

「いじめ防止宣言」を守り生活できたか、自分自身の言動を振り返ってみましょう。



西中メディアルール

令和2年度の生徒会で、メディアとの関わり方や使用時間について問題視し、西中生として守りたい内容をまとめた「西中メディアルール」を作成しました。このルールには、メディアとの正しく関わり、みんなで充実した学校生活を送りたいという全校の思いが込められています。栗原西中の一員として「西中メディアルール」を意識した生活を心掛けましょう。

西中メディアルール

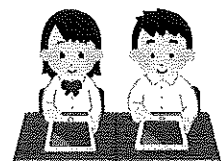
～規則正しい生活を送るために～

1. **メディアを使う時間は平日 2 時間以内、休日 3 時間以内にする。**
2. **朝はメディアを使わない。**
3. **メディア使用は夜 10 時までにする。**
4. **自学や宿題が終わってから、メディアを使う。**

※個人での使用に限る。個人での使用とは、自分の楽しみのために使う時間（SNS や Youtube, オンラインゲームなどの時間）を意味する。ニュースや勉強で使う場合や家族のだんらんで使用する場合はこのルールに含まれない。

【振り返ってみよう！】

「西中メディアルール」を意識した生活ができていたか、自分の生活を振り返りましょう。



1日の生活プログラム

場面	活動・時程		心がけること・気をつけること												
始業前	教室 出席確認	8:15	<p><u>○あいさつは、元気よく。</u></p> <p>○余裕を持って登校する。 ○机、ロッカーを整理整頓する。 ○始業時刻(8:15)までに教室にいないと遅刻となる。</p>												
朝会 生徒集会	【月】 朝会・集会の場合	8:15～ 8:40	<p>○集合・整列は整然と行う。 ○身だしなみ(服装・頭髪)を再確認する。 <u>○大きな声で校歌を歌う。(注意点あり)</u></p>												
朝の会	【月～金】 朝の会の場合	8:15～ 8:25	<p>○日直が進行する。 ○話をよく聞く。</p>												
ポプラ タイム	朝読書の時間 (デイ・カッソフ・きそ)	8:25～ 8:40	<p>○落ち着いた雰囲気 で読書する。 ○読書以外は禁止とする。</p>												
授業	1校時	8:45～ 9:35	<p>○チャイム着席(チャイムで着席完了)する。 <u>○大きな声であいさつする。</u></p> <p>○落ち着いた雰囲気 で学習する。 ○学習のマナーを守る。</p>												
	2校時	9:45～10:35													
	3校時	10:45～11:35													
	4校時	11:45～12:35													
休み時間	休み時間		<p>○用便を済ます。 ○次の授業の準備を完了する。 ○教室移動を完了する。</p>												
給食	配膳	12:35～12:50	<p>○当番はすぐに着替え、全員で準備する。 ○当番以外は、机を並べ、配膳する。 ○配膳が終わったら着席して待つ。 ○食器を大切に扱う。</p>												
	食事	12:50～13:10 (給食の時間は20分間)	<p><u>○「いただきます」</u> <u>「ごちそうさま」ははっきりと。</u></p> <p>○食事のマナーを守り、しっかり栄養を取るようにする。 ○放送をよく聞く。 ○食事中は教室から出ない。勝手に立ち歩かない。</p>												
	片付け	13:10～13:15	<p>○食器を大切に扱う。 ○当番全員で片付けをする。</p>												
昼食休憩	昼休み	13:15～13:35	<p>○予鈴(13:30)で授業を行う場所に移動し、学習の準備をする。 ○教室をあける際には、照明、冷暖房等は消して移動する。</p>												
授業	5校時	13:35～14:25													
	6校時	14:35～15:25													
清掃	移動・整列	15:25～15:45 (清掃時間は10分間)	<p>○清掃は運動着で行う。 ○授業終了後、すぐに清掃場所に移動する。</p>												
	あいさつ		<p><u>○放送に合わせてあいさつをし、</u> 清掃開始。</p>												
	清掃		<p>○自分の役割をしっかりと行う。 <u>○無言清掃を徹底する。</u></p>												
	整列・あいさつ		<p>○班ごと整列して、終わりの放送を待つ。 <u>○放送に合わせてあいさつする。</u></p>												
移動															
帰りの会		15:45～15:55	<p>○日直は進行(輪番制)する。 ○話をよく聞く。 ○日直は、戸締まりをして日誌を提出する。</p>												
部活動 委員会 下校	<table border="1"> <thead> <tr> <th>期 間</th> <th>部活終了</th> <th>完全下校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月～新人大会</td> <td>18:00</td> <td>18:15</td> </tr> <tr> <td>新人大会～2月</td> <td>17:00</td> <td>17:15</td> </tr> <tr> <td>3月</td> <td>17:30</td> <td>17:45</td> </tr> </tbody> </table>		期 間	部活終了	完全下校	4月～新人大会	18:00	18:15	新人大会～2月	17:00	17:15	3月	17:30	17:45	<p>○荷物を持って体育館に集合する。 ○すぐに次の活動に移動する。 ○目標を持って活動する。 ○時間を有効に使う。 ○各時期の下校時刻を厳守する。 ○部活動がない場合は、すぐに下校する。 ○完全下校時刻の15分前までに活動終了する。 ○スクールバスの発車時刻に遅れないように乗車 する。 ○定期テスト5日前からは、部活中止とする。 <u>○あいさつは、元気よく。</u></p>
期 間	部活終了	完全下校													
4月～新人大会	18:00	18:15													
新人大会～2月	17:00	17:15													
3月	17:30	17:45													

ポプラタイム(朝読書・ディベカッション・きそコン)

朝の会が終わってから授業が始まるまでの15分間(8:25~8:40)を「ポプラタイム」とし、学びのスキルを高めるための様々な学習活動を行います。

【朝読書】

- ◇原則として毎日(朝会や集会、きそコンやディベカッションのある日は除く)
- ◇活動のねらい
 - 読書の楽しさを知るため。
 - 読書の習慣を身に付けるため。
- ◇図書室から学級へ貸し出されている本(学級文庫)や、自分で持ってきた本を読みます。(マンガ・雑誌・教科書などは除く)
- ◇読んだ本の読書記録(読書カードの作成)を付け、読書紹介(7月・12月)をするときの参考にします。

【ディベカッション】

新聞記事や投書欄などの記事を用いて、3~4人グループで賛成・反対の意見を持って話し合いをする活動です。

- ◇2日間かけて実施する。
- ◇活動のねらい
 - 短い時間で文章を読み取る力を身に付ける。
 - 他の人の話を聞く力を身に付ける。
 - 自分の考えをまとめたり、話す力を身に付けたりする。
 - 思考力を身に付ける。
- ◇ディベカッションの流れ
 - ①資料を読みながら(または先生が読むのを聞きながら)、大切だと思った箇所や疑問に思った箇所に線を引く。
 - ②テーマに対し賛成か反対か、またその理由を考え、自分の意見をまとめる。
 - ③3~4人のグループでディベカッションを行う。(司会者が進行する)
 - ④司会者から意見を述べ、全員が発言する。
 - ⑤全員の発言が終わったら、もっと他に賛成理由や反対理由がないか、自由に意見を出し合う。
 - ⑥司会者が、グループで出された意見を発表する。
 - ⑦最後に自分の感想や、新たな意見をまとめ、提出する。

【きそコンについて】

学習の基礎となる内容を全学年同じ問題で実施し、競うことで生徒の学習への意欲を高めながら、基礎学力の定着を図る活動です。

- ◇国・数・英・理・社のコンテストを2週で実施。

<実施スケジュール>

金曜日:週末課題として予習プリントが配付される。

火曜日:第1回コンテスト

水曜日:第1回テストの分析

木曜日:第2回コンテスト

→以上を1クールとして実施します。

- ◇活動のねらい
 - 目標に向かって仲間とともに頑張ろうとする意欲の向上や家庭学習の充実。
 - 教え合いや励まし合いの中で、共に伸びていこうとする温かな学級集団の育成。

令和5年度

年間行事計画（4月～9月）

4月		5月		6月		7月		8月		9月			
1	土	1	月	安全点検日 ○	1	木	衣替え 安全点検日 ○	1	火	3年三者面談	1	金	安全点検日 ○
							⑥市中総体壮行式			安全点検日			市英語唱唱弁論大会
2	日	2	火	北部教研総会 ×	2	金	部活動17時終了 ○	2	水	3年三者面談	2	土	
				スポーツテスト 3時間実施						教育課程研究協議会			
3	月	3	水	憲法記念日	3	土	市中総体1日目 ×	3	木	3年三者面談	3	日	花山ふれあい運動会
				学年始業 安全点検日			お弁当の日			生徒集会（生活）			（地区民運動会）
				一斉赴任日									
4	火	4	木	職員会議 No	4	日	市中総体2日目 ×	4	火	3年三者面談	4	月	朝会 生徒会役員改選公示 ○
							お弁当の日			3年結団式			No 食育セミナー
5	水	5	金		5	月	振替休業日	5	土		5	火	きそコン①数 ○
										3年修学旅行			
										2年結団式			
6	木	6	土		6	火	振替休業日	6	日		6	水	きそコン①数 ○
										3年修学旅行			
										2年わらび座・1年協働体験			
7	金	7	日		7	水	衣替え完全実施 ○	7	月	三者面談予備日	7	木	きそコン①数 ○
							①学活 部活動集会						学習相談日 No
8	土	8	月	朝会 No ○	8	木	避難訓練 ○	8	火		8	金	学習相談日 No ○
				食育セミナー						花山小学習参観			
										入試制度保護者説明会			
9	日	9	火		9	金	引き渡し訓練(幼小中) ×	9	水		9	土	テスト期間
							教育実習終了 No						
10	月	10	水	着任式 始業式 ×	10	土		10	木		10	日	テスト期間
				入学式1400 No 弁当						朝会 職員会議 ○			
										駅伝壮行式 No			
11	火	11	木	対面式⑥ 全校学活 ○	11	日		11	火		11	月	学習相談日 No ○
				研究部会 No						山の日			
										中央委員会 フリー参観			
12	水	12	金	生徒写真撮影 ○	12	月	朝会 No ○	12	水	ディバカッション ○	12	火	職員会議 No ○
				部活動見学			ハイパーQU			専門委員会 フリー参観			期末テスト
13	木	13	土		13	火	ディバカッション ○	13	木		13	水	
							聴力検査～16日			市駅伝大会			
14	金	14	日	避難訓練 (不審者対応) ○	14	水	ディバカッション ○	14	金	フリー参観 ×	14	木	全校読書会 ○
				部活動体験 (~22日)			学習相談日 No			(駅伝大会予備日)			
15		15	月		15	木	市陸上大会 ○	15	土	学年PTA No ×	15	金	
							学習相談日 No						進路講話⑤⑥ ○
16	日	16	火		16	金		16	日		16	土	
							学習相談日 No						
17	月	17	水	職員会議・研究全体会 ○	17	土	テスト期間	17	月	海の日	17	日	
				学校生活アンケート No									
18	火	18	木	全国学力学習状況調査 ○	18	日	テスト期間	18	火	振替休業日	18	金	
													敬老の日
19	水	19	金	ディバカッション ○	19	月	中間テスト No ○	19	水	読書振り返り ○	19	土	
				専門委員会 内科検診			職員会議			学校関係者評価委員会			生徒会役員選挙告示 No ○
20	木	20	土	ディバカッション 厚狭西四反 ○	20	火	一泊小学校指導生事協同 ○	20	木	全校集会 ○	20	日	花山小環境整備
				中央委員会 耳鼻科検診			(全職員参加) No			県大会壮行式			きそコン①社 ○
21	金	21	日		21	水	中央委員会 ○	21	金	夏季休業日	21	月	職員会議・校内研修 No ○
													専門委員会
22	土	22	月		22	木	学校生活アンケート ○	22	土	県中総体	22	火	中間評価分掌部会
							専門委員会						小中合同研修会
23	日	23	火		23	金		23	日	県中総体	23	水	
							防犯教室⑥						秋分の日
24	月	24	水	振替休業日	24	土	一泊小学習参観	24	月	県中総体	24	木	
							市水泳大会 遠征						全校集会 校実力テスト(全) ○
													学校評価反省会 No
25	火	25	木	きそコン①国 ○	25	日		25	火	県中総体	25	金	
				部集会 生徒活動日									学校生活アンケート
26	水	26	金	きそコン①国 ○	26	月	3年校内実力テスト No ○	26	水		26	土	
				学テ(話すこと・書くこと)			県児童生徒学習態度調査						合唱練習
27	木	27	土	きそコン①国 ○	27	火	きそコン①英 ○	27	木		27	日	
													合唱練習
28	金	28	日		28	水	きそコン①英 ○	28	金		28	月	Ⅱ期時間割開始 ○
													No
29	土	29	月	昭和の日	29	木	きそコン①英 ○	29	土		29	火	ディバカッション ○
				秋岡まつり									
30	日	30	火		30	金		30	日		30	水	
													市新人大会 お弁当の日 ×
													3年校内実力テスト
		31	水					31	月	3年三者面談	31	木	
													期末テスト(実技) ○

※給食のある日には○がついています。△は1・2年のみ給食がある日です。
 ※No部活デーは「No」だけが表記されています。

令和5年度

年間行事計画（10月～3月）

栗原市立栗原西中学校

10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1	日 部転入生会（野球・バスケ） 市ソフトテニス研修大会	1	水 安全点検日 ○	1	金 進路指導委員会②	1	月 元日	1	木 安全点検日 ○ 私立入試B日程	1	金 安全点検日 ○
2	月 振替休業日	2	木 一斉研修日 × 3時間授業 No	2	土 一泊小学習参観 P.T.A講演会	2	火	2	金 学校関係者評価委員会 ○	2	土
3	火 No 生徒活動日 ○ 合唱練習	3	金 文化の日 薬師まつり	3	日	3	水	3	土	3	日
4	水 合唱中間発表会 ○ 合唱練習	4	土	4	月 朝会 職員会議 △ 3年校内実力テスト No	4	木 冬季休業日 安全点検日 仕事始め	4	日	4	月 No ○
5	木 生徒会役員選挙 ○ 合唱練習	5	日	5	火 きそコン②数 ○	5	金 冬季休業日 No	5	月 朝会 No ○ 進路指導委員会④	5	火 宮城公立1次募集 △ 2年校内実力テスト
6	金 第1学期終業式 No × 弁当	6	月 朝会 No 福祉体験⑤ ○ ハイパーQU	6	水 きそコン②数 ○	6	土	6	火 きそコン②理 ○	6	水 職員会議 ○ No
7	土	7	火 きそコン①理 ○	7	木 きそコン②数 ○	7	日	7	水 きそコン②理 ○	7	木
8	日	8	水 きそコン①理 ○	8	金 花山小学習参観 ○	8	月 成人の日	8	木 きそコン②理 ○ 学習相談日 No	8	金 宮城公立追試験 ○ 総練習 卒業式準備 No
9	月 スポーツの日	9	木 きそコン①理 ○	9	土	9	火 全校集会・全校校内実力テスト ○ No	9	金 学習相談日 No ○	9	土 第12回卒業式 × No
10	火 秋季休業日	10	金 避難訓練 ○	10	日	10	水 ディベカッション ○	10	土 テスト期間	10	日
11	水 秋季休業日	11	土 一泊小学習発表会	11	月 市標準学力調査（東部） ○ No	11	木 ディベカッション ○	11	日 建国記念の日 テスト期間	11	月 みやぎ緑魂の日
12	木 第2学期始業式 × 合唱練習 弁当の日	12	日 花山小150周年記念式典 さくら岡まつり	12	火 きそコン②英 ○	12	金	12	月 振替休業日 テスト期間	12	火 中央委員会 No △ 学校生活アンケート
13	金 合唱練習 ○	13	月 三者面談（4時間） ○ No	13	水 きそコン②英 ○ 中央委員会	13	土	13	火 期末テスト ○ No	13	水 専門委員会 △ （新入生予備登校）
14	土 習字奉仕作業（清掃）	14	火 三者面談（4時間） ○ きそコン②国	14	木 きそコン②英 ○ 専門委員会	14	日	14	水 食育セミナー ○ No	14	木 宮城公立合格発表 No △ 進路指導委員会⑤
15	日	15	水 三者面談（4時間） ○ きそコン②国	15	金 ダンス授業公開 ○ 学年P.T.A	15	月 生徒集会（総務） No ○ 職員会議	15	木 食育セミナー ○ No	15	金
16	月 西中祭タイム No ○ 英検BA	16	木 三者面談（4時間） ○ きそコン②国	16	土	16	火 学校生活アンケート ○	16	金	16	土
17	火 西中祭タイム No ○	17	金 三者面談（4時間） ○ 学習相談 No	17	日	17	水 ディベカッション ○ 中央委員会	17	土 一泊小学習参観 花山小学習参観	17	日
18	水 西中祭タイム No ○	18	土 テスト期間	18	月 進路指導委員会② ○ 読書振り返り No	18	木 ディベカッション ○ 専門委員会	18	日	18	月 期末大掃除 △ No
19	木 西中祭タイム No ○ 学校生活アンケート	19	日 テスト期間	19	火 学校生活アンケート ○	19	金 ④租税教室	19	月 生徒集会（広報） No ○ 職員会議	19	火 小学校卒業式 △
20	金 西中祭タイム No ○ 西中祭準備（午後）	20	月 中間テスト ○ 職員会議 No	20	水 ディベカッション ○	20	土	20	火 学校生活アンケート ○	20	水 春分の日
21	土 第12回西中祭 No × お弁当の日	21	火	21	木 ディベカッション ○	21	日	21	水 中央委員会 ○	21	木
22	日	22	水	22	金 全校集会 × No部活デー	22	月 No	22	木 専門委員会 ○	22	金 修了式 × No
23	月 振替休業日	23	木 勤労感謝の日	23	土	23	火 きそコン②社 ○	23	金 天皇誕生日	23	土
24	火 職員会議 No ○ 月曜日の授業	24	金 学校生活アンケート ○	24	日	24	水 きそコン②社 ○	24	土	24	日
25	水 国語弁論栗原地区大会 △ 進路指導委員会①	25	土	25	月 冬季休業日	25	木 きそコン②社 ○	25	日	25	月 学年末休業日 小中連絡会
26	木 中央委員会 ○	26	日	26	火 冬季休業日	26	金 1日入学・入学説明会 ○	26	月 No ○	26	火 学年末休業日
27	金 専門委員会 ○ 3年進路説明会⑥	27	月 生徒集会（保健） ○ No 食育セミナー	27	水 冬季休業日	27	土	27	火 授業参観・学年P.T.A ○ No	27	水 学年末休業日
28	土 裸枝	28	火	28	木 冬季休業日 仕事納め No	28	日	28	水	28	木 学年末休業日 離任式 No
29	日 花山のれあい文化祭	29	水 ディベカッション ○ 中央委員会	29	金 学校開庁	29	月 No	29	木 予餞会 ○	29	金 学年末休業日
30	月 生徒集会（執行部） No ○	30	木 ディベカッション ○ 専門委員会	30	土 学校開庁	30	火 私立入試A日程 ○			30	土
31	火 3年校内実力テスト ○			31	日 学校開庁	31	水 期末テスト（実技） ○			31	日